

# 革(皮)籠原

## 幻の白河決戦の地、大造成



皮(革)籠原にある石阿弥陀防塁跡  
北側遠景

### 革(皮)籠原にある 石阿弥陀防塁跡

福島県白河市白坂

文献には「革(皮)籠原」とあることから革(皮)籠原防塁跡とは、呼ばれていますが、石阿弥陀地区にあるものです。堀幅は約7メートルで南側に低い土塁が伴う二重土塁構造となっています。長さ約370メートルが石阿弥陀地区に現存しています。皮籠地区内にも土塁と堀跡の一部が残されています。それらをつなぐと推定で3千~5千メートルの防塁が構築されたこと推定されます。西端の陣場には、見張り台として使用した陣場跡があります。また、後方の見晴らしの良い小丸山には、櫓台跡や土塁、平場が連続して約2千メートル構築されています。防塁の前方、県境には、前線基地として大規模な陣城が造られていました。石阿弥陀とは、石造の板碑「キリーク」(阿弥陀如来)が地区内祀られているからです。

文責・写真 石田明夫

